

# 令和3年度「小中学校ジョイントスクール推進事業」北稜中学校区実践計画書

事務局 北稜中学校 (担当：教頭 長者久保希史子)

## 1 主題 (2年次)

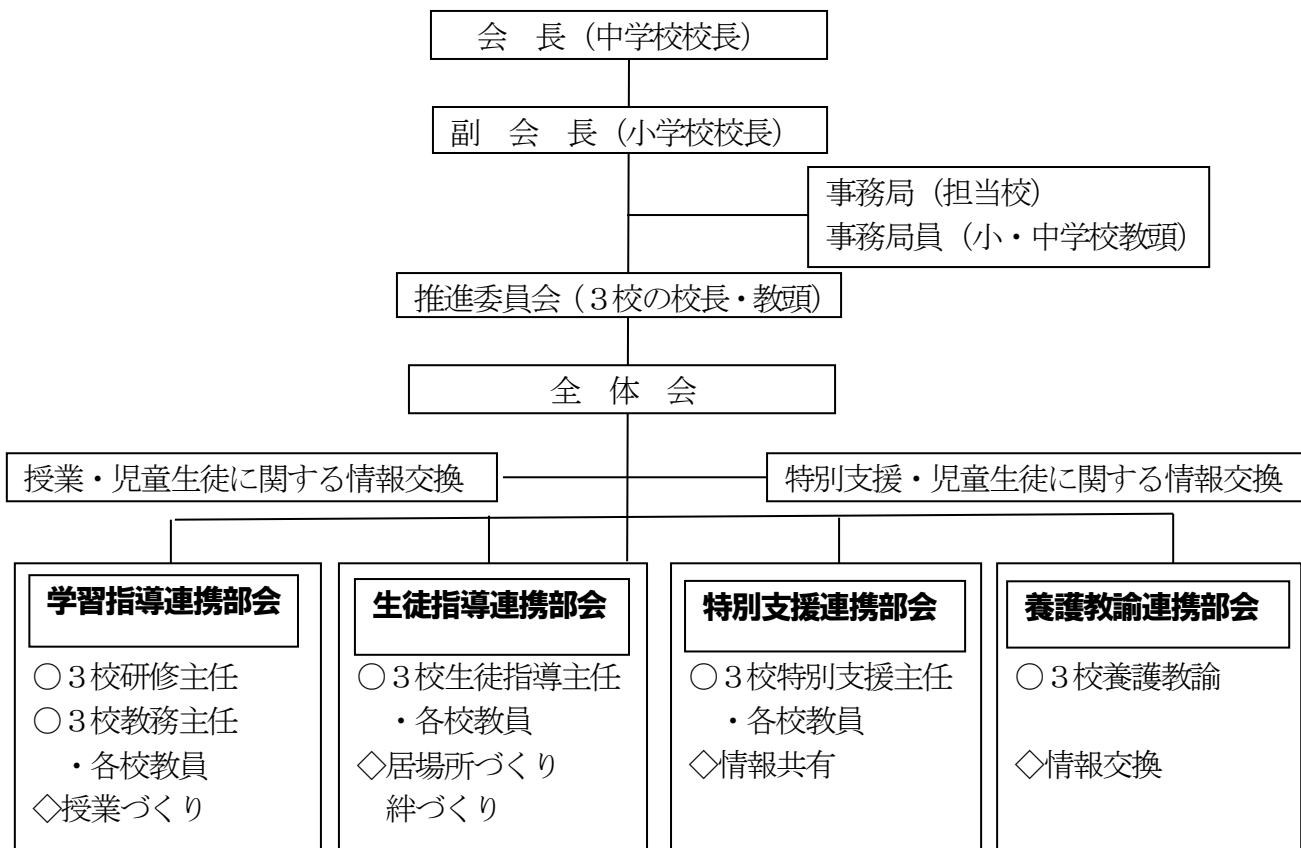
『夢をもち、人とのかかわりの中で自己を高めていこうとする児童生徒の育成』  
～授業づくり・居場所づくり・絆づくりの視点での小・中連携を通して～

## 2 主題設定の理由

北稜中学校区(根岸小学校、日計ヶ丘小学校、北稜中学校)では、平成30年度より、児童生徒の「聞く、考える、話す」力の育成、キャリア教育の観点から「他の意見を聞き、自分の考えをもち、的確に相手に伝える力」のコミュニケーション能力の向上を図ることを目標に設定し、取組を続けてきた。また平成30年度からの2年間、文部科学省国立教育政策研究所の委託を受け「魅力ある学校づくり」に推進校として取り組み、児童生徒の意識調査をもとに「授業づくり・居場所づくり・絆づくり」などを通じた「集団指導」に着目した不登校の未然防止に係る学校の取組について研究を進めた。これにより不登校の未然防止にとどまらず、児童生徒の心の動きをキャッチし、よりよい集団づくりを進めることができた。また、児童生徒個々の自己有用感や自己存在感を高めることや、更には小学校から中学校への滑らかな接続にも結びつき、明日も来なくなる学校づくりへの実践の効果を確認することにつながった。

以上のことから、「魅力ある学校づくり」の3つの視点をもとに上記のテーマを設定し、令和二年度からの3年計画で段階的に研究を進めることとした。児童生徒自身が将来社会に出て良好な人間関係を築ける能力や生き生きと生活をしていくために必要な様々な能力、身に付けておかなければならないことを習得できるように、意識調査結果等を共有し、連携しながら研究をすすめる、校区の子どもたちが居場所を実感し安心して学習や様々な活動ができるよう、日常的に指導を実践していきたい。

## 3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



## 4 中学校区の重点指導項目

### 北稜中学校区 「魅力ある学校づくり」重点指導項目

- 学び合いのある授業づくり
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり
- 自己を高める基本的な生活習慣づくり (あいさつ・適切なメディアとの付き合い方)